

入 試 年度	2026 年度	入試時期	Ⅱ期入学試験	実施日	2026 年 2 月 24 日
課程	博士前期課程	研究科	文学研究科	専攻・ コース	史学専攻 アジア 史専修
入 試 方式	外国人留学生入学試験		試験科目	専門科目	
「解答」または「解答例」及び「出題の意図」					
【解答例（採点時の観点）】					
大問Ⅰ アジア史の基礎的知識となる歴史用語を、特定の地域に偏らずに理解できているかどうか判定します。					
大問Ⅰの回答例（一部）					
A 群 九品中正を選択した場合「三国の魏から隋初におこなわれた官吏任用制度のことである。中央から地方に派遣された中正官が、郷里の評判を調査し人材を評価して報告し、中央からはそれに応じて九段階の官品が与えられた。」					
B 群 ヤークーブ＝ベクを選択した場合「コーカンド＝ハン国出身の軍人である。回民の清に対する反乱に際して、東トルキスタンで政権を樹立したが、清が派遣した陝甘総督左宗棠の軍に敗れた。」					
C 群 タンジマートをを選択した場合「オスマン帝国のアブデュルメジト 1 世が 1839 年のギュルハネ勅令によって開始した改革。帝国臣民の法の下での平等、生命や財産の保障など、西欧型の近代化を目指したが、十分な効果をあげられなかった。」					
大問Ⅱ アジア史を研究する上で必要な文章の読解能力が十分であるかどうか判定します。いずれの文章でも、内容を正確に把握し、平易な日本語訳になっているかどうかを評価します。					
【出題の意図】					
大問Ⅰ アジア史を研究する上で必須となる基礎的な歴史用語を、知識として十分に身に着けているかどうかを問うために出題しています。					
大問Ⅱ アジア史を研究する上では、テーマによって漢文史料の読解、または英語文献の読解のどちらかが必要になります。比較的初歩的な文章を出題し、読解能力が十分かどうかを問うために出題しています。					
合否判定の方法及び基準					
入学試験は文学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。					
合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。					